

2010
第34号

8万

(須賀川市人口79,601人 8月1日現在)
[前年同月比 △1人]



一夜館跡 (仁井田字一夜館地内)

豊臣秀吉は、日本に流布していたキリスト教を天正15(1587)年にバテレン追放令を出し、江戸幕府もその方針を引き継ぎ、慶長18(1613)年に禁教を布告しました。しかし、信者は仏教信者のごとく振る舞いながら、キリストの教えを信仰していました。

信者のお墓は、形に工夫をこらし、十字架の形がそれとなく表されています。

畑田に隠れキリシタンの墓と言われる石碑が2基あります。禁教政策の時代にあった中で、現代まで残っている隠れキリシタンの墓石は、郷土の歴史遺産として大切に保存されています。

天正18(1590)年、二階堂家の家臣^{やたのいづのかみ}矢田野伊豆守^{よしまさ}義正が、仁井田の明石田館の城主^{あかしだまのすけ}明石田佐馬介^{あかしだまのすけ}とともに大里城にこもって伊達氏に抵抗しました。

その際、激しい抵抗に一旦引きあげざるをえなくなった伊達勢が、怒って一夜のうちに土塁を築き、明石田館の留守兵を襲った、という言い伝えのある館跡です。

一夜館公園の北西部に土塁の一部と言われるものが残っています。



隠れキリシタンの墓 (畑田字鍛冶内地内)



木之崎館跡 (木之崎字西田地内)

木之崎館跡は、須賀川二階堂氏を祖とする^{きのの}木之崎右近大輔^{きみさき}が居住したと伝えられ、今でも高さが5mにも達する土塁跡や城を取り巻く堀跡を見ることができます。

永禄年間(1500年代)、長沼城領以外の岩瀬西方(長沼・岩瀬地区)は二階堂領に属しており、木之崎館跡の位置する現在の榊衝地区周辺には、会津蘆名氏の侵攻に備え、木之崎館のほか、矢田野城、榊衝館、横田館、今泉城、大里城(天栄村)等、須賀川領を守る多くの城館が築城されました。

旧跡発見!

すかがわ探訪

委員会活動報告

各委員会の活動内容についてお知らせします。

総務常任委員会

本委員会では、行財政改革の推進について継続調査事件として、年間を通して取り組み検討を重ねています。

委員会として一定の結論を得たので、今年の3月に庁舎の有効活用、行政評価制度、指定管理者制度の3項目について、当局に対して提言・要望をしました。

また、7月には空港利活用の観点から約328haの広大な福島空港公園の現地調査を行い、県での今後の見直し状況の確認や、整備計画について意見交換をして理解を深めました。

さらに、8月には先進地行政調査で北海道石狩市、恵庭市において行政評価の取り組みについて、行政評価委員会、行政改革推進委員会、行政評価の出席説明、まちづくり委員会の4項目の取り組みを調査研究し、その結果について当局に参考になる事項を提言することとしました。

今年の11月までには、平成21年度事務事業評価結果に基づく



福島空港公園での現地調査

個別事業についての調査や入札制度、行政評価、市町村合併後の効果の項目について議論し年度内に取りまとめをしていきたいと考えています。

積極的な活動を通して、当局に対し要望・提言を行い、効率的な行政運営ができるよう取り組んでいきます。

委員長 鈴木 忠夫
副委員長 五十嵐 伸

委員 佐藤 瞭二
委員 丸本由美子
委員 桐生 傳一
委員 村山 廣嗣
委員 水野 敏夫

建設水道常任委員会

本委員会では、所管事務事業と具体的調査項目の上・下水道事業経営と運営に関すること及び住宅マスタープランについて調査を行っています。

所管事務事業では、4月に平成21年度の各部各課における委託を含む工事について、当初予算、7月・9月・12月・2月・3月補正予算ごとに工事の概要と進捗及び計画等について調査を行いました。

これは、昨年度の事業及び予算の執行状況について調査確認し、所管の各部各課における事業内容を把握するとともに、本年度の事業調査と継続的な施策評価に結びつけながら、さらに、改善・見直しを行っていきます。

6月には、西川浄水場と釈迦堂川河川敷工事の概要説明を受けたほか、古屋敷地内河川改修工事にかかる現地調査を行い、進捗状況を確認しました。

具体的調査項目では、7月に兵庫県三田市で公営住宅マスタープランについて、広島県三次市で汚水適正処理構想及び汚泥再生処理センターについて行政調査を行い

ました。

住宅マスタープラン策定での課題や対応策、汚水処理方法の見直しに向けた基準づくりや、活性炭を生成するし尿処理などの先進的な事例は、当市の参考にしていきます。

さらに、当面する課題や今後予想される課題に迅速に対応していくため、委員会活動の中で調査・提言をしっかりと行っていく予定です。

委員長 鈴木 正勝
副委員長 広瀬 吉彦
委員 鈴木 公成
委員 森 新男
委員 大越 彰
委員 塩田 和幸
委員 細谷 松雄



広島県三次市での調査

生活産業常任委員会

本委員会では、本年度「安心・安全のまちづくり」、「地場産業の強化育成」、「所管事務事業の行政評価の検証」をテーマとして取り組んでいます。

7月には釧路市において、消防本部が併設された「市民防災センター」を視察し、関東大震災の震度7の地震体験や火災時の初期消火、暗闇での避難体験をし、地震の怖さを実感してきました。

また、「釧路市公設地方卸売市場」では地産地消の取り組みについて調査しました。

現在は、指定管理者による市場運営となっており、市の産業振興部と教育委員会が連携してPRやアイデアを出し合ったり、学校給食に取り入れるなど、地元で取れたものを積極的に消費しようとする意識の高さを感じました。

帯広市では、「中心市街地の活性化について」調査し、中心市街地にある百貨店の中に、市民活動交流センターを設置して、中心市街地の活性化と市民協働のまちづくりを図ろうとする取り組みで、歩いて暮らせるコンパクトな



西袋地内の降ひょう被害調査

まちづくりの観点から大変参考になりました。

事務事業評価については、平成21年度に実施した主要事業について現在調査中であり、今後評価を行うていきます。

また、7月25日に発生した降ひょうによる農作物の被害調査を実施しました。被害を受けた生産農家や市及び農協職員から説明を受け、被害の大きさを確認しました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 八木沼久夫 |
| 副委員長 | 相楽 健雄 |
| 委員 | 川田 伍子 |
| 〃 | 市村 喜雄 |
| 〃 | 菊地 忠男 |
| 〃 | 大内 康司 |
| 〃 | 高橋 秀勝 |

教育福祉常任委員会

本委員会では、平成21年度の調査項目について、去る4月20日に、「安心できる介護保険制度のあり方について」、「幼児教育について」一年間の調査結果を踏まえ、将来に向けての提言書を提出しました。

本年度の調査項目については、先の6月定例会において「高齢者支援について」、「子育て支援について」の、2項目に決定したことを報告しました。これらの項目について去る7月28日から30日までの3日間で、北海道の伊達市と恵庭市で行政調査をしてきました。

伊達市では、高齢者に住みやすい集合住宅を民間の活力で提供する等の高齢者を中心としたまちづくりを進める、「ウェルシーランド構想」について調査を実施してきました。

恵庭市では、保育所や幼稚園に入る前の子供達を中心として、自由な遊びを通して、特に若い母親もいっしょに成長することを目的とした「プレイセンター」を調査しました。そこでは10種類の自由な遊びが体験でき、子育て支援センターと共に利用されていました。こうし

た支援事業は、ニュージールランドが発祥とのことで本市でも参考にできるのではと、大変興味を抱いてきました。

今後は、こうした先進地の事例を参考にして、本市の現状や違い等を把握して、2つの項目について調査を進め、課題や、改善点等をまとめて、年度末には、委員会としてより充実したサービスの提供につながるよう当局に提言していきます。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 加藤 和記 |
| 副委員長 | 塩田 邦平 |
| 委員 | 大倉 雅志 |
| 〃 | 関根 保良 |
| 〃 | 生田目 進 |
| 〃 | 橋本 健二 |
| 〃 | 渡辺 忠次 |



恵庭市での調査

議会広報委員会

本委員会は、各会派より選任された8名で構成しており、各委員がそれぞれのページ（全8ページ）を担当編集し、全員で内容のチェックや文言の整理など5回にわたり校正を行ない、3月、6月、9月、12月の年4回発行しています。

平成14年7月に第1号を発行してから、本号で34号となります。タイトルは本市の人口を表わし、当初「6万7千」でしたが、平成17年の合併後は「8万」となっています。

他市にはない事前告知を旨とし、年間を通じ、多くの議会広報の編集委員の方々が本市を訪れ、平成19年度は19件の調査を受け入れました。

表紙については、須賀川、長沼、岩瀬地域の旧跡を発掘し、担当の委員がカメラ、ペンを手に現地に向き、さらには文献、歴史研究家などの訪問調査を行い、記事として載せています。

市民の皆様方からは、自分の住



8名の議会広報委員

む地域の新たな発見として好評を得ており、問い合わせも多く寄せられています。

本紙は議会の活動内容や役割、常任委員会の活動状況などご理解をいただくため、今後委員一同親しまれる議会だより「8万」となるよう編集に努めていきます。

委員長 生田目 進
副委員長 関根 保良
委員 鈴木 公成
五十嵐 伸
相楽 健雄
加藤 和記
鈴木 正勝
菊地 忠男

予算委員会

本委員会では、市民の皆さんから預かった税金を、当局がどのようにに執行していくのか審査を行っています。

予算の審査は議長を除く27人の委員で行い、当初予算については3日間、年度の途中で提案される補正予算については、その都度審査を行います。

当市の本年度の当初予算は、一般会計が約259億円、国民健康保険や介護保険などの特別会計が約171億円ですが、それらのすべての項目について、集中審議いたしました。

審査においては、財源の確保、事業の必要性や効果、税金の無駄使いはないか、市民の要望が反映されているか、今後の財政運営に問題はないか等の様々な視点から、各委員より質疑がなされ、当局に説明を求めました。

近年の動向としては、市税収入が平成21年度約87億円から平成22年度約82.5億円の約4.5億

円の減に対し、扶助費が平成21年度約35億円から平成22年度約46億円の約11億円の増となるなど、税収が落ち込む反面、扶助費などの義務的経費の伸びが目立ち、厳しい財政運営となっています。

このようなことから、市民の要望が即反映されるのは難しい状況となっているようですが、今後とも少ない経費で最大の効果が得られる予算となるよう、提言、審査していきます。

委員長 市村 喜雄
副委員長 川田 伍子
議長を除く全議員



議会運営委員会

本委員会では、市民の皆様により分かりやすく身近な議会となるよう、議会審議の活性化、議会活動の透明化を進め、質の高い議会となるべく、議会・議員の活性化について、議論を深め議会改革に取り組んでいます。

特に、一般質問については、何度となく議論を深め、現在の方式を検証しながら新しい取り組みとして、一問一答方式の研究などいろいろな角度から、本市議会独自の質問形態を作るべく協議検討を発売に行っています。

8月3日から先進事例を調査研究するため、大阪府泉南市と京都府亀岡市において議会運営について行政調査を行いました。

いずれの議会も市民の負託に応えるため、議会の活性化を図り、市民の幸せ実現のために様々な取り組みをしていました。

一般質問についても試行的に、一問一答方式を導入し各市とも70%以上の議員が取り組みをしていました。

特に亀岡市では、定例会ごとに議員の90%が一般質問に取り組みしており、工夫次第では取り組みや



泉南市での調査

すい状況ができるかと考えさせられ、当市においても2市の状況など、参考にすべき点も多く見受けられました。

今後の活動については、活発な議会運営を目指して深く議論を重ね、積極的に調査研究を行っていきます。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大内 康司 |
| 副委員長 | 塩田 和幸 |
| 委員 | 大倉 雅志 |
| 〃 | 五十嵐 伸 |
| 〃 | 広瀬 吉彦 |
| 〃 | 市村 喜雄 |
| 〃 | 大越 彰 |
| 〃 | 橋本 健二 |

議会制度検討委員会

市民に開かれた議会を目指すため
議会制度検討委員会を設置

議会の役割と責任
（二元代表制を活かすために）

本市議会では、市民にわかりやすい、より開かれた議会を目指すため、地方議会のあり方や議員・議会活動の取り組みなど、二元代表制のもと地方議会が本来果たすべき役割、責任について、各党派から推薦を受けた7名の委員により、（仮称）議会基本条例検討委員会を設置しました。

去る6月15日に第1回目の委員会を開催し、委員長に広瀬吉彦議員、副委員長に生田目進議員を選任し、委員会の正式名称と委員会の基本的運営方針について協議しました。

名称は「議会制度検討委員会」とし、本委員会の目的・運営方針は、議員・議会としてのあり方、市民や各種諸団体との関わり、行政当局との関わりな

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 広瀬 吉彦 |
| 副委員長 | 生田目 進 |
| 委員 | 森 新男 |
| 〃 | 八木沼久夫 |
| 〃 | 市村 喜雄 |
| 〃 | 鈴木 正勝 |
| 〃 | 水野 敏夫 |

どについて、現状における課題や問題点、将来において予想される課題等を抽出することに決定しました。

本市議会には、すでに議会開催等における基本的な項目をまとめた須賀川市議会基本条例はありますが、新たな時代に対応した議員の役割・議会の責任などについて改めて検討することになりました。

第2回目の委員会（7月26日）では、第1回目で検討した本委員会の目的と運営方針などに基き、議会改革や議会の自立性、二元代表制としての機能強化などについて協議しました。

今後は、議会運営委員会との整合性を図りながら、課題や問題点の抽出を行い、あらゆる視点から委員の間で議論を深めて、本年12月を目途に議長に対して報告します。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 広瀬 吉彦 |
| 副委員長 | 生田目 進 |
| 委員 | 森 新男 |
| 〃 | 八木沼久夫 |
| 〃 | 市村 喜雄 |
| 〃 | 鈴木 正勝 |
| 〃 | 水野 敏夫 |



平成21年度調査項目数

調査項目	項目数
議会運営、議会改革全般	8項目
議会だよりの発行	4項目
市町村合併の経緯、効果	2項目
菜の花プロジェクトの取り組み	2項目
企業誘致策(テクニカルリサーチガーデン)	2項目
地域情報化計画の策定	2項目
中心市街地活性化に係る基本計画等	2項目
ふるさとづくり支援事業の概要と課題	2項目
須賀川牡丹園の管理	1項目
環境マップの作成	1項目
市民活動サポートセンターの取り組み	1項目
遊休農地の解消・集落営農の取り組み	1項目
今出ダム利水計画中止に至る市の取り組み	1項目
はたけんぼの概要と実績	1項目
デマンド型タクシーの導入と課題	1項目
地域防災計画の概要と課題	1項目
芭蕉記念館の概要と現況	1項目
白江小学校オープン教室の校舎	1項目
浜尾遊水地設置の経過、管理、効果	1項目
計	35項目

平成21年度都道府県別受入れ数

都道府県名(市町村名)	受入れ数
埼玉県 <small>(秩父市、鴻巣市、志木市、桶川市、八潮市、羽生市)</small>	6件
東京都 <small>(瑞穂町、東村山市、多摩市)</small>	3件
大阪府 <small>(松原市、東大阪市、泉佐野市)</small>	3件
愛知県 <small>(大府市、稲沢市、幸田町)</small>	3件
北海道 <small>(長沼町)</small>	1件
青森県 <small>(五所川原市)</small>	1件
岩手県 <small>(久慈市)</small>	1件
福島県 <small>(白河市)</small>	1件
栃木県 <small>(那須烏山市)</small>	1件
千葉県 <small>(君津市)</small>	1件
神奈川県 <small>(座間市)</small>	1件
富山県 <small>(富山市)</small>	1件
兵庫県 <small>(丹波市)</small>	1件
岐阜県 <small>(高山市)</small>	1件
三重県 <small>(伊賀市)</small>	1件
愛媛県 <small>(新居浜市)</small>	1件
宮崎県 <small>(日南市)</small>	1件
長崎県 <small>(大村市)</small>	1件
鹿児島県 <small>(指宿市)</small>	1件
計	30件

行政調査の受入れ

議員活動の一環として、他市の先進的な事例を調査研究し、市政進展に生かしていく行政調査という活動があります。

本市議会においても、各党派や常任委員会において行政調査を行っています。他市議会からも本市の特徴的な事業について、行政調査に訪れています。

昨年度は30件を受入れました。これまでの実績は次のとおりです。

年度別受入れ数

年度	受入れ数
平成14年度	27件(5件)
平成15年度	28件(9件)
平成16年度	16件(3件)
平成17年度	30件(15件)
平成18年度	24件(7件)
平成19年度	51件(22件)
平成20年度	21件(10件)
平成21年度	30件(11件)

※()内は議会関係の件数



9月定例会のお知らせ

会期運営予定表

月 日	会 議 の 内 容
9月2日(休) (ライブ中継)	本 会 議
	会 期 の 決 定
	会議録署名議員の指名
	全議案一括上程
3日(金)	議案調査
4日(土)	休 会
5日(日)	休 会
6日(月)	議案調査
7日(火) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
8日(水) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
9日(木) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
	議案に対する総括質疑
	議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑
	請 願
10日(金)	委 員 会
	総務常任委員会 建設水道常任委員会
11日(土)	休 会
12日(日)	休 会
13日(月)	委 員 会
	生活産業常任委員会 教育福祉常任委員会
14日(火)	委 員 会
	予 算 委 員 会
15日(水)	委 員 会
16日(木)	決 算 特 別 委 員 会
17日(金)	
18日(土)	休 会
19日(日)	休 会
20日(月)	休 会(敬老の日)
21日(火)	事務整理
22日(水) (ライブ中継)	本 会 議
	委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決
	議員提出議案/意見書案/決議案の提案と採決
	請願(委員長報告)の質疑と採決
	継続調査事件の申し出(委員長報告)

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各常任委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

前年度の決算内容について審査を行います。

各常任委員会での審査報告と採決を行います。

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

提出案件

9月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

○単行議案

- ・市道道路の認定及び廃止について
- ・須賀川市立大東中学校校舎改築工事のうち建築主体工事の請負契約締結について

○予算

- ・平成22年度須賀川市一般会計補正予算(第2号)
- ・平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度須賀川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

○報告

- ・平成21年度須賀川市一般会計及び特別会計歳入歳出決算について
- ・平成21年度須賀川市水道事業会計決算について
- ・平成21年度須賀川市健全化判断比率及び資金不足収支比率について

議会傍聴してみませんか。

本会議と委員会は、開催日に市役所4階で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも自由に傍聴できます。一般質問の日は、市役所4階に臨時傍聴席も設けています。また、インターネットで本会議の様子をライブ中継していますので、ご覧ください。

議会初日には、市長から議案の提案理由説明があります。また、9月7日から9日には、一般質問がありますので、お出かけください。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎88-9162 (直通) 議事係

議会は、午前10時開会の予定です。

☞本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。(http://www.city.sukagawa.fukushima.jp)

市議会教室

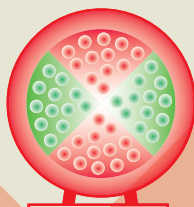


議員の寄付行為の禁止

◆地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ



◆開店祝い、葬儀の花環、供花



◆お中元や歳暮



◆お祭りへの寄付や差し入れ



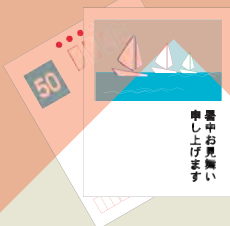
◆入学、卒業祝い



◆病気見舞い



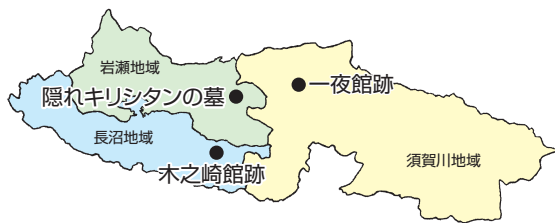
◆年賀状、暑中見舞い



◆町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ

※以上の項目などは法律で禁止されています。

表紙の「旧跡発見！」の位置図



委員 長	生田 目 進
副委員 長	関根 保 良
委員	鈴木 公 成
五十嵐 伸	
相楽 健 雄	
加藤 和 記	
鈴木 正 勝	
菊地 忠 男	

議会広報委員会

本市議会では、市民の皆様には、議員活動をよりわかりやすくご理解頂くため、手段の一つとして、定例会ごとに市議会だより「8万」を発行しています。

記事内容については、予算・決算審査状況、請願・陳情の処理状況、会派活動や政務調査費の使いみち、定例会の開催などについてお知らせしています。

今号では、特に、本年6月、新たに設置した「議会制度検討委員会」の設置目的や運営方針について掲載しています。

これまでも、本市議会では、市民の信頼と期待に応えるため、「議会改革調査特別委員会」や「議員定数等調査特別委員会」などを設置し、費用弁償の廃止や議員定数の見直しなど、議会改革の取り組みについてお知らせしています。

今後、委員会活動の活発化に向けて取り組んでいきます。

編集後記